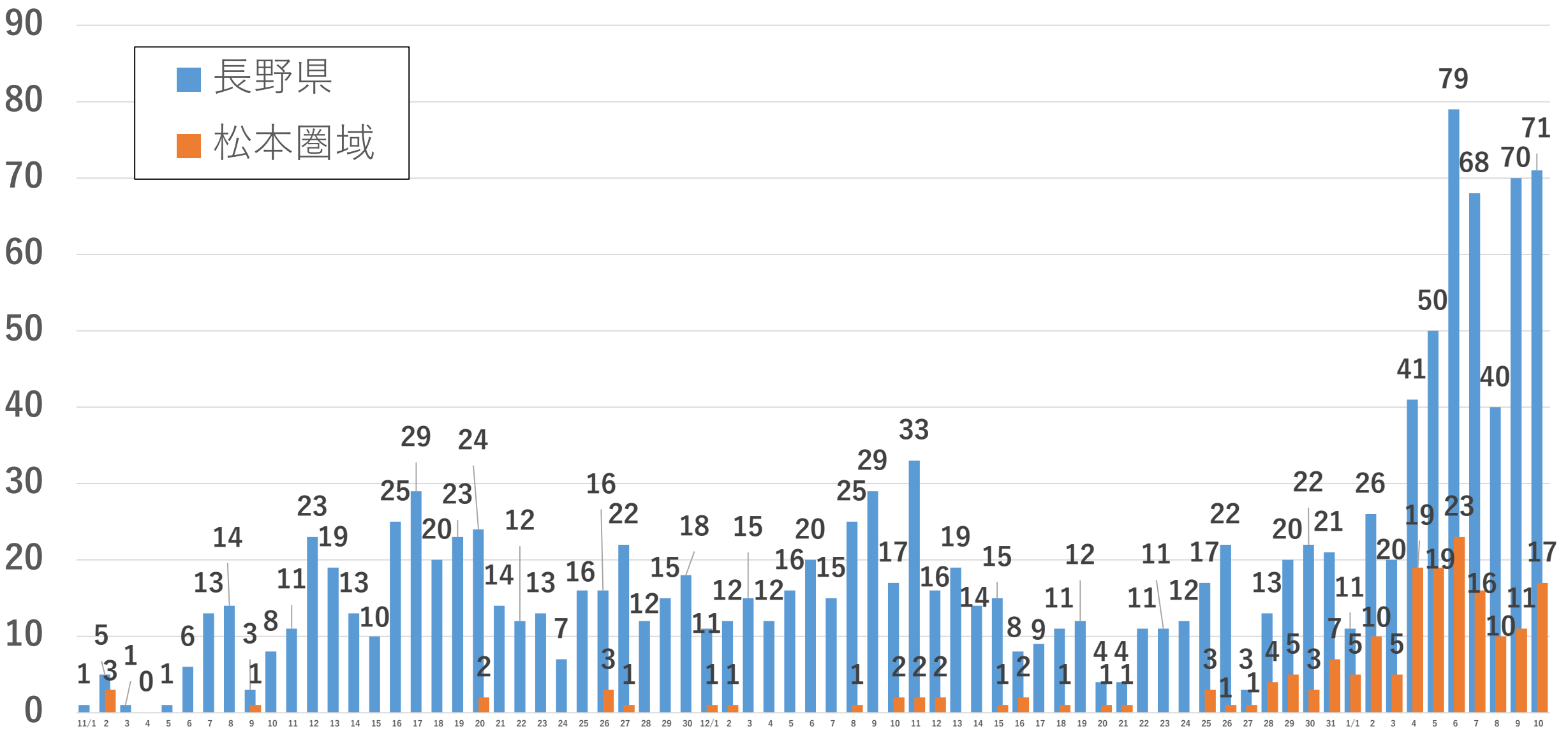
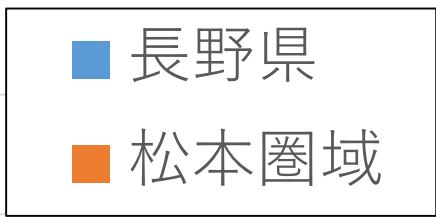


県内の感染者と松本圏域の感染者の推移（11月1日以降）

市長記者会見資料
3. 1. 12
健康づくり課

(人)



(日)

年末以降の松本圏域における新型コロナウイルス感染症受入可能病床

	12月28日	12月29日	1月4日	1月8日	1月10日	1月12日	1月15日	
市立病院	16床 (陽性者12、疑似症4)	25床 (陽性者21、疑似症4)	→					37床
まつもと医療センター	11床 (中等症以上受入れ)	11床 (軽症以上)	→	15床	→			
相澤病院	3床 (透析患者のみ)	6床 (一般+透析)	→					
安曇野赤十字病院					4床	→		
松本協立病院				振り分け外来開始	→	3床	→	
信州大学附属病院	中等症以上	→						
県立こども病院	2床 (小児重症者のみ)	→						
中信地区宿泊療養施設	100室	→						
圏域外調整			開始	→				

市長記者会見資料
3. 1. 12
高齢福祉課

高齢者施設等従業者に対するPCR検査の実施について

1 趣旨

松本市の感染警戒レベルが5に引き上げられ、「特別警報Ⅱ」が発出されたことに伴い、長野県が感染リスクが高いと考えられる高齢者施設等の従事者に対し、無症状の場合を含めPCR検査を受けるよう呼びかけ、集中的な検査を実施するものです。

2 対象施設及び施設数（令和3年1月12日現在）

現在調整中

3 検査方法

長野県が委託する業者が各施設を訪問し、説明及び回収する。

4 市の対応

県と連携を取り、必要に応じて協力できる体制を整えます。

市長記者会見資料
3. 1. 12
高齢福祉課

高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対応について

1 趣旨

高齢者施設において新型コロナウイルス感染者が発生したため、長野県高齢者施設等応援職員派遣支援と本市で構築した新型コロナウイルス感染症対策介護事業所ネットワークが連携し、応援職員が派遣されたことについて報告するものです。

2 応援職員派遣の流れ

- (1) 事業所におけるサービス提供可否の判断（自主休業するか否か）
 - ア 自主休業する⇒市高齢福祉課に休業の報告
 - イ 自主休業しない ((2)へ)
- (2) 事業所（または法人）での対応の可否
 - ア 事業所（または法人）からの直接派遣で対応可能な場合はサービス提供を継続
 - イ 対応不可の場合はネットワークに応援職員の派遣・調整依頼 ((3)へ)
- (3) 事業所、市高齢福祉課、長野県等が連携のうえ、応援事業所の調整、協力依頼
- (4) 応援職員の派遣

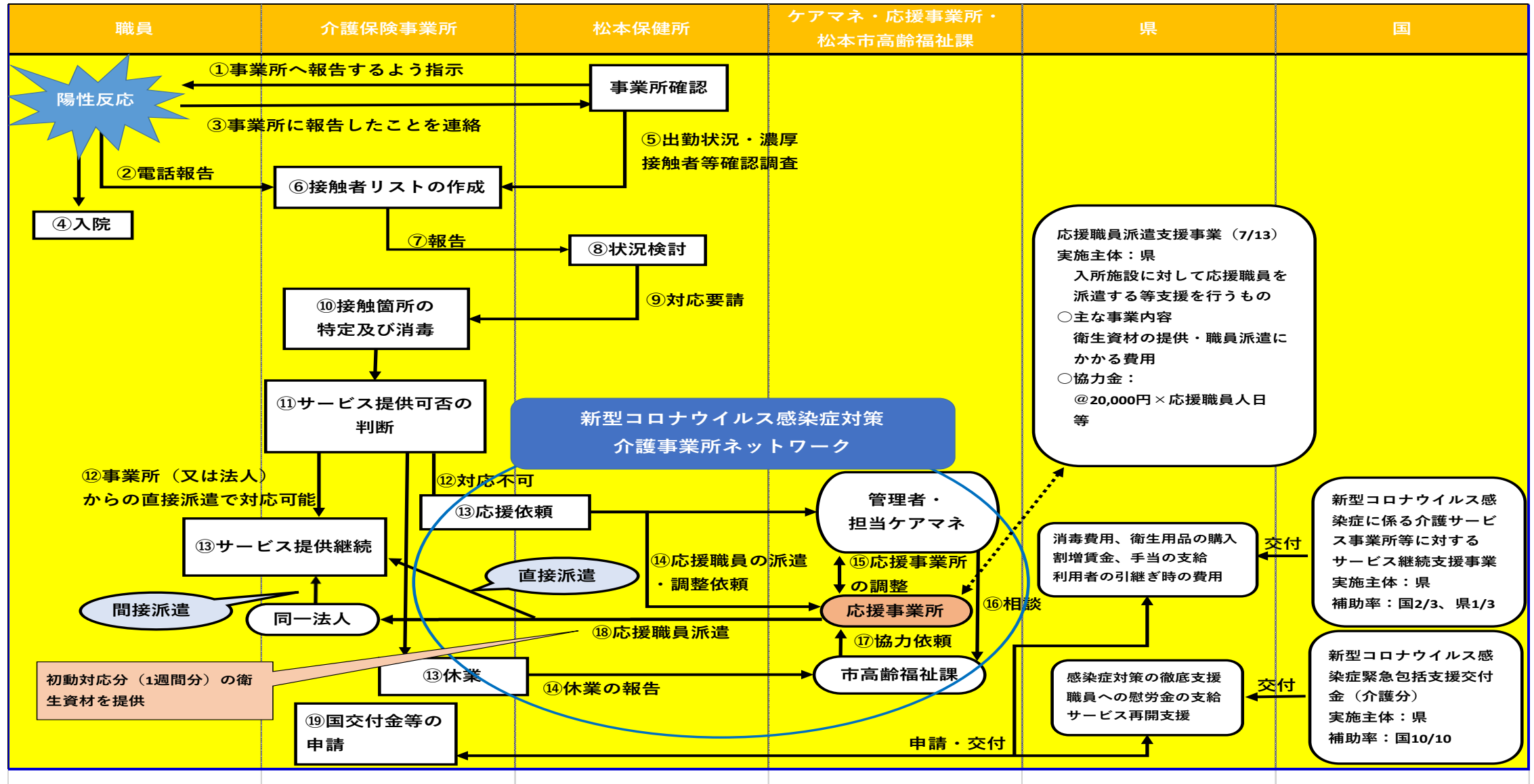
3 現在の状況

2法人3名の職員が1月10日（日）から1月22日（金）まで順次感染発生施設に派遣される予定です。

4 その他

市において初動対応分として購入、備蓄したアイソレーションガウン、フェイスシールド等の衛生用品を提供しています。

新型コロナウイルス感染症発生時の事業所対応モデル



サービス種類ごとに対応が異なる。
下記モデルは、入所施設で介護職員が感染した場合を想定。